

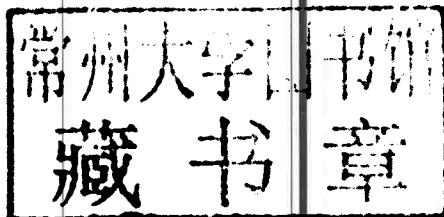
復刻版
現代建築

9
15
号

復刻版
現代建築

9
／
15号

国書刊行会



復刻版 現代建築 (9~15号)

ISBN978-4-336-05446-3 (全2冊+別巻セット)
ISBN978-4-336-05448-7 (本巻)

2011年12月15日 印刷

2011年12月20日 発行

監修者 笠原 一人

発行者 佐藤 今朝夫

〒174-0056 東京都板橋区志村1-13-15

発行所 株式会社 国書刊行会

TEL.03(5970)7421(代表) FAX.03(5970)7427

<http://www.kokusho.co.jp>

印刷・モリモト印刷(株) 製本・(有) 青木製本

落丁本・乱丁本はお取替いたします。

【凡例】

一、本書は、雑誌「現代建築」全一五号を合本復刻したものである。復刻に当たっては、原本の内容には改変を加えず、できうる限り忠実な再現を試みた（本巻には九一五号を収録）。

二、刊行に当たり、本誌理解の一助とするべく別冊として後継誌「工作文化」を同時復刻して付し、併せて新規書き下ろしの解説論文及び本誌総目次を付した。

三、本誌記事の文章の中には現在の人権意識に照らして適当でない表現も一部に見られるが、刊行時の時代背景と本誌の資料的価値を鑑み、そのままとした。

四、制作に当たっては日本女子大学および京都工芸繊維大学附属図書館の御協力を賜り、笠原一人氏に監修をいただいた。記して誠意を表する次第である。

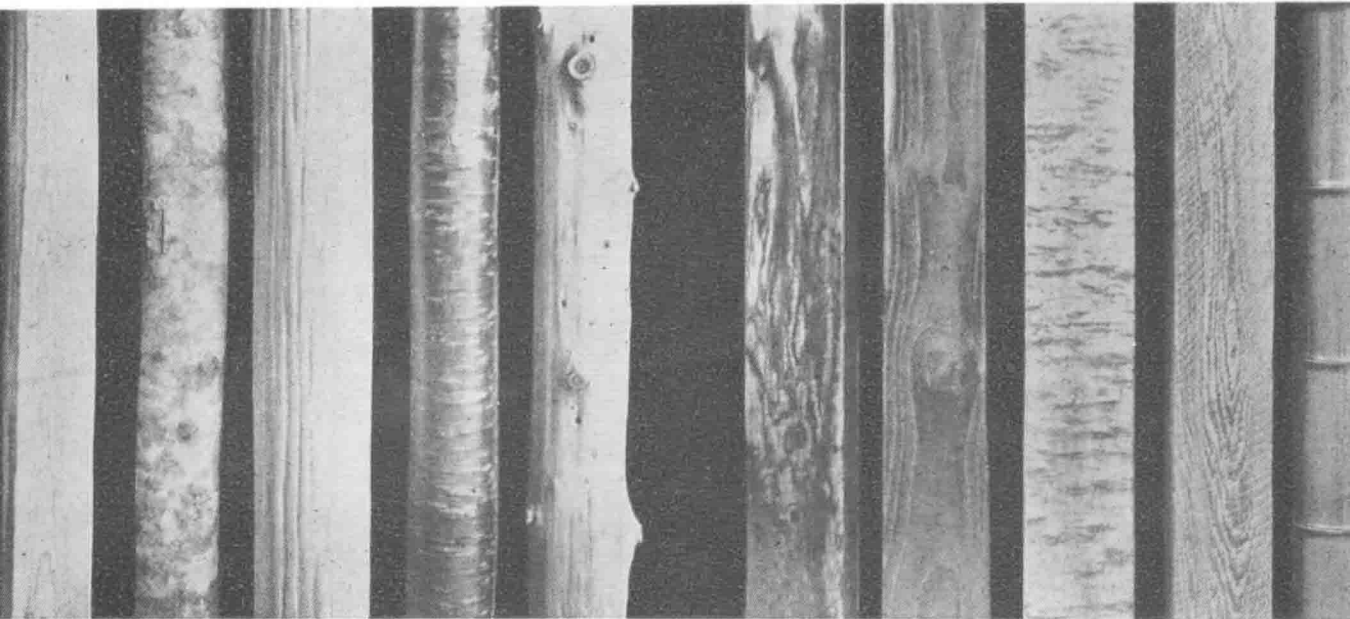
現代建築

9

昭和十五年三月十日印刷 昭和十五年三月十五日發行 (每月一週十五日發行)

日本工作文化聯盟編輯 1940. 2-3.

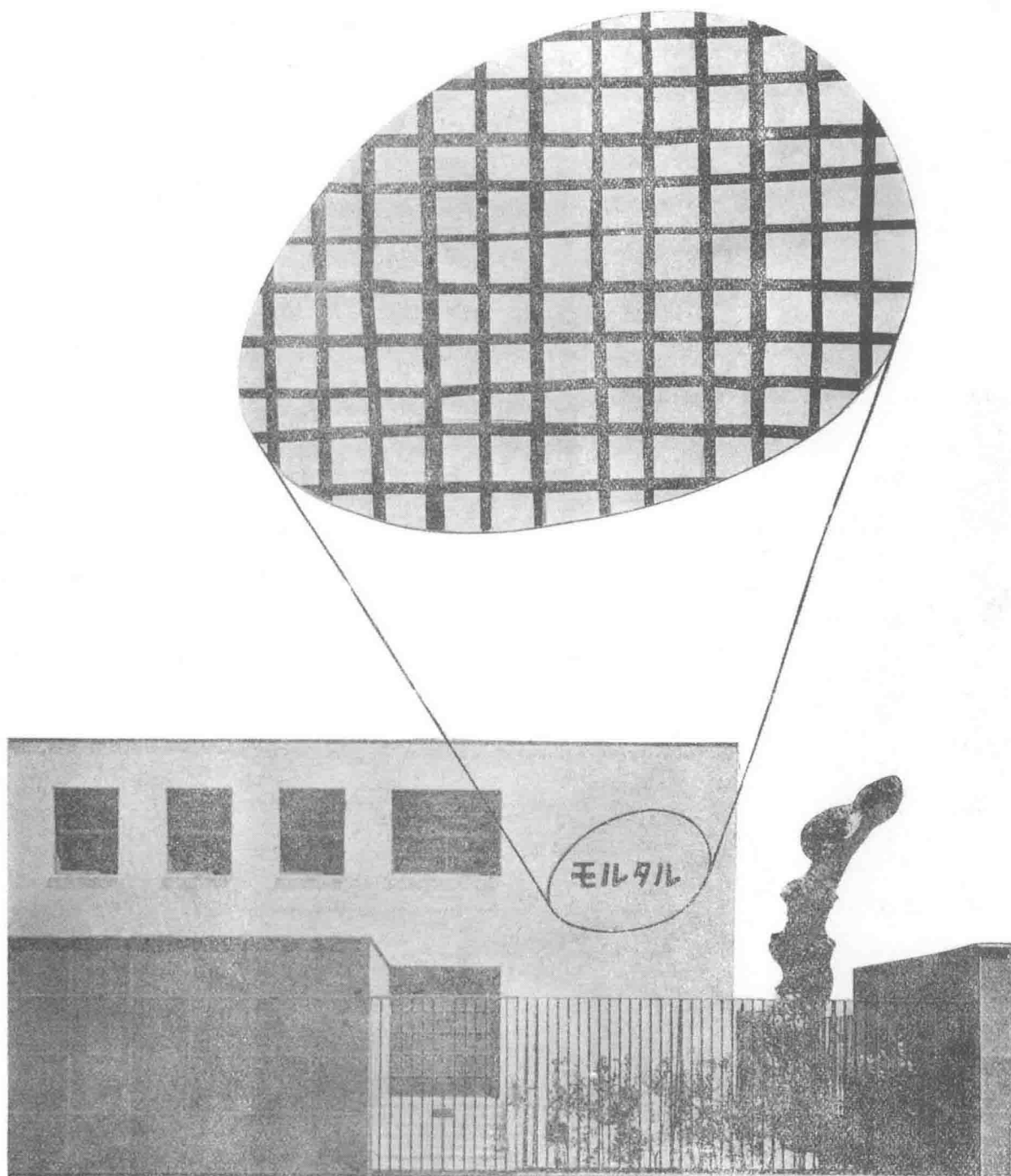
政



屋問木銘外内

商店助之政田篠

東京・京橋・寶町二丁目
電話京橋一四四二・五二二六・八六四五
深川支店 東京・深川・木場
電話本所一九八二・一九八三
横濱支店 横濱・横濱橋
電話長者町一九四三



モルタル塗下ニハ

チ ク ラ ス

竹 製 品

發賣元 合資 森岡平右衛門商店金物部 東京市日本橋區江戸橋一丁目
會社 代表電話 日本橋(24)3301(8)

オリエンタルメタル

耐酸・防錆被覆鋼鐵板

★銅板代用・耐久建築材料

★耐久力絶大・價格低廉

★寸法・型狀製作自在

★製作取付責任施工

國產建築材の精華!



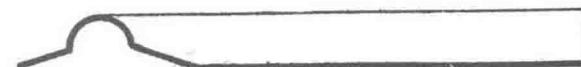
浪型板



瓦型板



軒 樋



棟 押



谷 樋



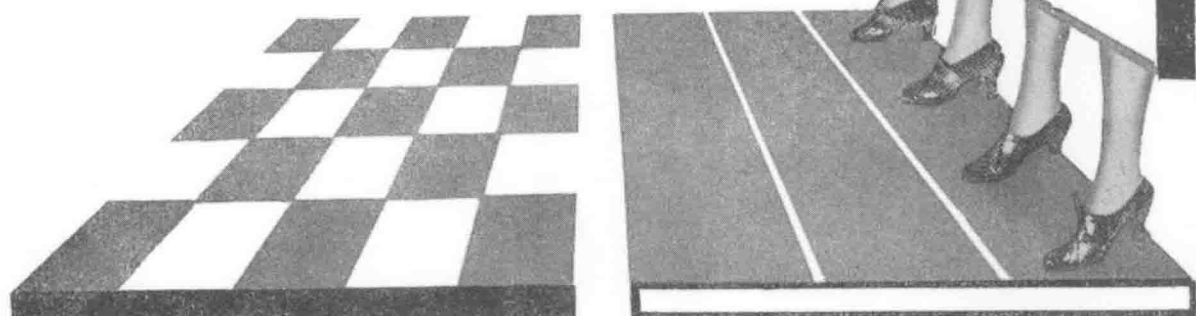
通 風 器

オリエンタルメタル

製 造 所

本社及工場 兵庫縣尼ヶ崎市・電話 尼崎 736・1446 番
東京出張所 東京市日本橋區通二丁目大同生命館・電話 日本橋 715 番
東京工場 東京市蒲田區新宿町一三五八番地
廣島出張所 廣島市袋町六富國館三階・電話 廣島 2245 番
各地出張所 京城・大連・奉天・新京・天津・哈爾濱・カナダバンクーバー市

リノタイル
リノリウム
リノウォール



東洋リノリウム株式會社

本社工場 兵庫縣伊丹町 電話大阪福島九三一番
營業所 大阪市東區瓦町二丁目三和ビル
電話北演 二〇六〇番 三一九〇番 五三六四番
東京支店 東京市京橋區銀座四丁目、三和ビル
電話京橋 二五六四番 一七〇一 番

現代建築第9號目次

1940. 2・3 合併號 外國新建築特輯

忠靈塔競技設計入選案をみる	岸田日出刀	2
忠靈塔の發表に接して	市浦健	5
アルヴァル・アールト	藥師寺厚	8
新建築の現實性(津田輝夫抄譯)	アルフレッド・ロート	11
住宅	宅……………グロビウス・フロイヤー	13
住宅	宅…………… ” ”	16
住宅	宅……………アルヴァル・アールト	20
木造組立住宅	宅……………エリック、フリベルガ	22
アレクサス屋外水泳場	……………フェッフエリ・モーサア	28
ハーレムの屋内水泳場	……………ローゲム	34
ヒルヴェルスーム放送局	……………メルケルバハ・カルステン	38
瑞西展示會	……………マックス、ビル	43
廣東日語學校	……………岸田日出刀	46-58
中山陵	……………佐藤武夫	49
ワルター・グロビウスの建築意識	……………森田茂介	60
工作文	……………化	62
編輯後記	……………	64

忠靈塔競技設計入選案をみる

岸 田 日 出 刀

1

2月1日興亞奉公日の夕刻上野松坂屋の七階に、過般の懸賞競技設計で入選した忠靈塔圖案諸作の展覧會を見て、所感極めて強く且つ多きものがあつたので、ここに綴つて以て一つの記録としたい。

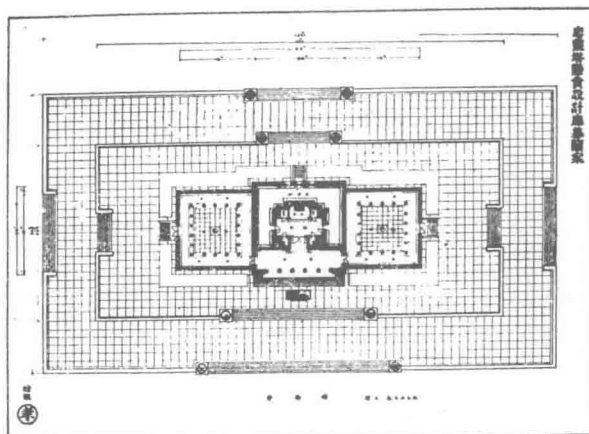
會場に入るとまづその右手の壁面に大きく審査員の姓名が白地に黒く書き連ねてある。本來ならば私の名もそのうちのどこかに誌されてゐた筈であるのに今ここにはない。私は審査員でもなくまた應募者でもない單なる一建築家の觀覽人として心をきなく觀て廻ることができた。本懸賞競技設計募集の發表されたとき、淺學非才の私も權威ある審査員諸大家の列名の末席を漬してゐた。また本競技設計の重要さから考へて、忠靈塔の建設精神なり計畫の内容等に對し應募者各位のよりよき認識と理解とに資するためにといふ趣旨から建築學會の主宰で催された東京と大阪での講演會の席上で、私は「忠靈塔の造形意匠に就いて」といふ題の下に數百名の熱心な建築家又はその他の人々の前で私の考へを申述べる機會をもち得たことは審査員として私の大きな誇りでもあつた。しかるに私は或止むを得ぬ事情から遂に審査員を辭退致すの餘儀なきに至つたことは、本競技設計の主宰者たる大日本忠靈顯彰會に對し、又更に一部應募者各位に對しまことに恐縮且つは申譯なき次第だつたと遺憾に思つてゐる。

昨年(昭和11)の11月23日に東京を發ち本年の1月1日に東京に歸着するといふ豫定で私は南支廣東に出張した。用務は南支派遣軍の依囑による或重要な事項であつたが、現地に於ける仕事と便船の都合で、審査決定豫定日であつた1月5日までは何としても歸國できなかつたので、萬止むを得ず事前に菱刈大日本忠靈顯彰會長まで審査員辭退の旨電報を以てお願いした次第である。審査員としてははじめ名を列ねてをきながら、その光榮ある職責を果すことができなかつたのは、誠に申譯けない次第でもあつたがまた残念至極のことでもあり、そしてまたそれは私として萬止むを得ない事情からでもあつた。審査に際し私も出席したかのやうな新聞記事もあつたが、あれは新聞の誤報であつて私は12月10日から1月9日まで廣東に滞在し、東京に歸着したのは1月22日夜である。

2

展覧會を一巡し了つての感じは、その10日ほど前に淺間丸事件を耳にしたとき抱いたやうな言ひやうもないいらいらとした感じ、又は「不愉快」でならぬといつた感じであつた。かうしたことを公言することを、人は或は不謹慎であるといふかもしれない。しかしそれはまちがひである。對象が忠靈塔であるから言ひたいことも言はないといふやうな卑屈な誤りを犯してはならない。對象がこの曠古の意義ある今次聖戰の忠靈塔なればこそ、最も公平にして嚴肅なる批判を必要とするのである。私がここにこの小文を綴るのも、少しでもよりよい忠靈塔の建設されることを心から希ふ衷情からに他ならない。

第1種・第2種及び第3種の各種別入賞圖案を通覽するに、二三の例外はあるが概してその造形と意匠は微



第一種一等

平面圖



透視圖

掠原正則

弱にして貧困である。よくまあこんなのがどこがよくて入賞したんだらうと思はれるやうなひどいものも決して少なくない。これはなんとしたことだらう。忠霊塔建設のあの何ものにも代へ難い崇高にして莊重な精神を考へて、今この展覽會場に立つとき、私は一人の建築家としてかしくやくなき千萬の鞭を受けてゐるやうな苦しさで焦躁の感とを経験しなければならなかつた。護國の英靈を永へに記念する今次聖戦のための忠霊塔が果してこの程度の造形意匠上の低調さでよいものだらうか。斷じて不可である。懸賞競技の結果に對する期待が大きかつただけに、その失望はより大きなものがあつた。かうした感じは單に私一人が抱いたものではなく、をそらく心ある建築家なら誰でも痛切に感じたことだと思ふ。過去の懸賞競技でもその結果が豫期に反して低調であつたといふやうなことは一再ならずあつただらうが、この度のことは對象が大陸各地にまた國內大都市に市町村に數多く建設される忠霊塔なるが故に、最も慎重な考慮と善後策とが講ぜられなければならぬと信ずる。

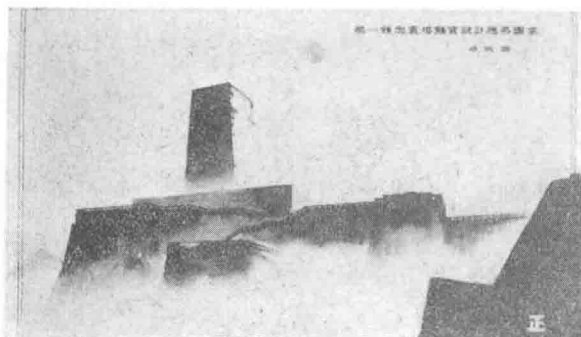
3

以下各種別毎に觀覽後の所感を少しく綴つてみよう。

第一種一等は無難の作ならんも、素樸簡明を缺き莊重雄大の氣魄に乏しく大陸に建てらるべき忠霊塔としては、萬人詣でてひとしくこれを敬仰するといふやうな優作とは何としても思へぬ。むしろ二等二席の雄大な構想や三等二席の簡明な均齊美により多くの長所を見出す。佳作中では岡本氏の雄渾の布置をとる。

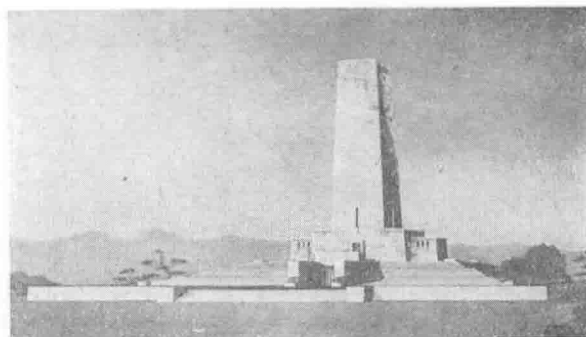
第二種一等は塔基部と前面の取扱ひ徒らに錯雜にして、忠霊塔としての強い印象を直截的に與へる迫力に乏しい憾みあり、さして秀作とは思へず。むしろ二等一席及び二席の方がその構想に於いてまた各部の比例や取扱ひに於いて優るものがある。一等よりも二等や三等の方をよいといふのは私のすがめだらうか。だがどうも私のすがめではなささうである。審査方法の如何によつては、かうした矛盾も極めて自然に公平に且つ合理的に生まれるものであることを私はまた知つてゐる。どんな審査方法がとられたか詳かにしないが、かうしたことも兎角ありさうなことだと思ふだけである。

第三種一等も無難の一語に盡きる。この第三種は三種別中最も造形意匠がむづかしいと見え、入選諸作中にもと



第一種二等二席

蒲生久敏



第一種三等二席

高木茂雄

れといふ優作に乏しい。むしろ佳作中の望月・吉田・津守・長澤諸氏の作に優れた創意や洗練された意匠を見出すことのできるのは皮肉である。

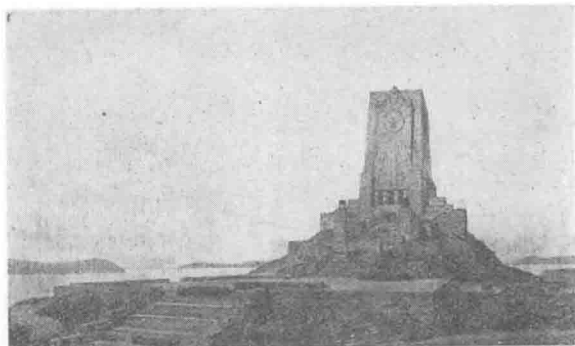
私は落選した数多くの苦心作を見る機会がなかつたのは残念であるが、私の畏敬する建築家諸氏の落選作を二三見せてもらつた結果から推して、私にはかなりの優作と認められるやうなものも決して二三に止まらなかつたのではないかと思はれる。

4

忠霊塔の懸賞競技設計も一應終了して、一等以下各等入賞作の決定をみたことは、まづ以て慶祝に耐へない。そしてそれら各種の一等受賞作品が大陸各地にまた國內に数多く建設される順序であらうが、曠古の意義に輝く今次聖戦に護國の華と散つた忠勇武烈の將兵の英魂を永久に記念する忠霊塔であるから、その計畫その造形は萬人ひとしく崇敬し得る底のものでなければならない。今回の一懸賞競技設計で理想的最善案が選ばれたといふふうにはどうしても考へられない。参考案が集つたといふ程度に私は考へたい。今回計畫の忠霊塔といふものの重要さをいろいろの角度から考へると、さう考へざるを得ないのである。審査員はそれぞれ権威者である。而もそれらの審査員の諸作は未だ發表されてゐないのである。この權威ある審査員の作品を顧みないで、懸賞設計の一等案をそのまま實施に移すといふことは、今回の忠霊塔建設といふことの國家的意義の重要さからみて穩當ではあるまい。やや理屈つばいが、かうしたことも當然考へられる筈、何れにしても實施計畫案は懸賞競技設計の結果に捉はれることなく、充分慎重な考慮の後に生まれる理想最善のものでありたい。このことを日本國民の一員としてまた昭和の日本建築家の一人として、忠霊塔建設當局に希願して止まぬ次第である。

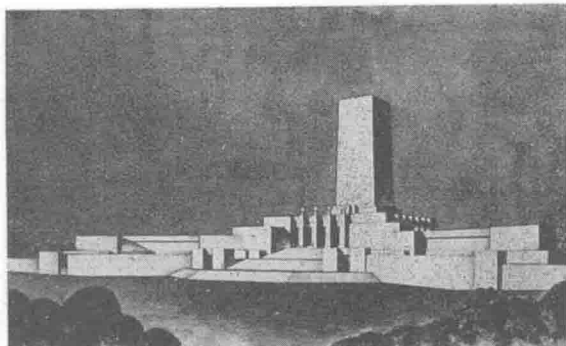
東京市の忠霊塔建設敷地としては、舊砲兵工廠跡が最も好適地として市當局の議に上つてゐると新聞は報道してゐる。だがいろいろの點から考へてこの地は東京市の忠霊塔敷地としては好ましくない。敷地一帯はその外周地域よりも一段低く盆地狀をなし、常に小石川・本郷方面や省線電車上等より俯瞰される位置にあり、塔周圍だけを如何に公園風に整理してもその外廓一帯には恆に猥雑の家屋密集し、忠霊塔敷地としての莊重神嚴さを與へがたい等の缺點が数多い。東京市の忠霊塔敷地としてはどこがよいか、私案もあるがそれは他の機會に譲り、ここでは舊砲兵工廠跡の非なることのみを指摘するに止める。

(昭和 15 年 2 月 4 日)



第一種佳作

岡 本 啓



第二種一等

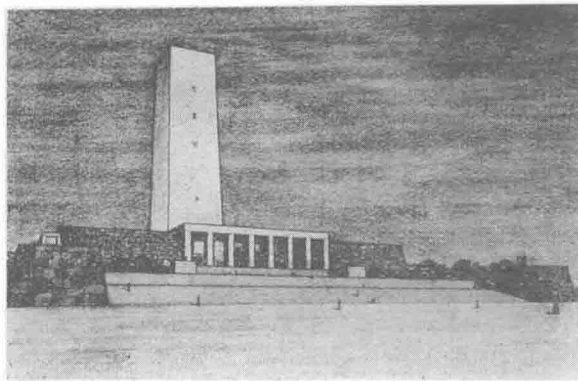
竹 崎 文 二

忠 靈 塔 の 發 表 に 接 し て

市 浦 健

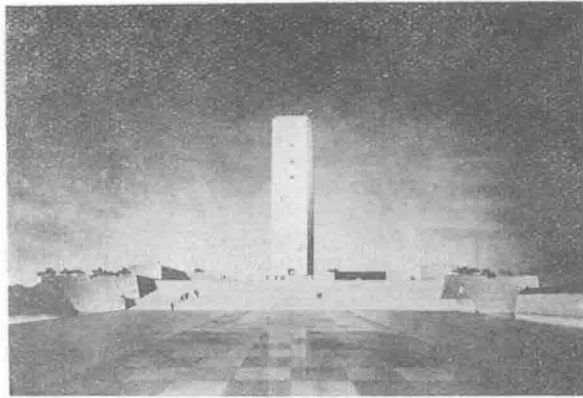
1700 と云ふ未曾有の應募案を得て 12 月以來慎重審査が續けられて居ると新聞に報導されつゝあつた忠靈塔設計圖案の懸賞競技の結果が待望の裡に 1 月初旬發表された。此の競技設計の對象は個人の頌忠塔や一事件の紀念碑とは違つて 3 年に垂んとする興亞の大業に殉じた數萬の英靈を國民舉つて頌へんとするための忠靈塔である。國民は全國を通じてその身内から又近親から又はその友人からこの忠靈塔にその名を刻まれる者を持たぬものはないから如何なるものが建てられるか、如何なるものを建てゝ欲しいからといふ様な關心は決して輕々しいものではない。忠靈顯彰會の資金が續々と集められるのも、又此の事業に新聞社が競つて後援せんとするのも皆此の事實を反影して居るのであらう。そして今回の懸賞競技が日本の工作文化界特に建築界の衷心よりの協力を喚起した事は審査員に一流の權威が集められた事でも測り知れやうが夫よりも 1700 と云ふ古今未曾有の應募數が最も有力の證佐であらう。即ち在來建築界では兎角懸賞競技には不滿な點が多かつたので所謂懸賞屋以外には有力なる建築家は餘り應募しなかつたのに對し今回は日本の建築界の各層を通じて應募者があつた。而かも審査員の顔觸れに願慮せず相當優秀な建築家が在來の態度を一擲して應募したのである。かくして社會の注目の下に審査員各位の献身的努力が 1 ヶ月餘も續けられた結果は最近新聞紙上及展覽會等により公表された次第である。

以上の如き一般の關心の下に建築界の協力を得て此處に具體化の第一歩を踏み出した此の問題に對して社會の批判はどうであつたらうか？ 特に文化界中でも最も責任のある建築界の忌憚なき批判がなされたであらうか？



第二種二等一席

吉村順三



第二種二等二席

杉山雅則

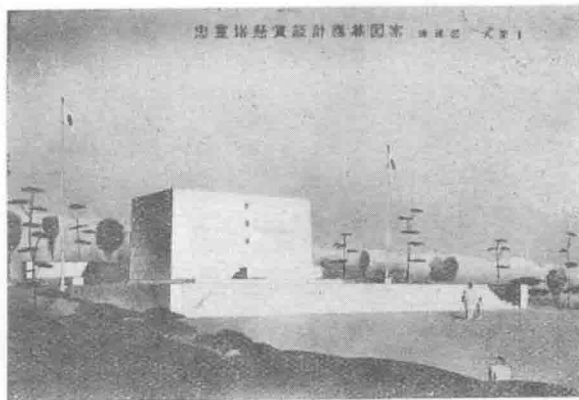
事實は全然無である。尤も今回の懸賞競技には在來の一般の場合と非常に異なる二、三の點がある。第一に募集主體が宮殿下を奉戴し軍部の強力なる支持により設立されたる團體であると云ふ事、第二は忠靈塔なるものが護國の英靈を祀るものであると云ふ事、第三には今回の募集が新聞社の協力によりてなされた事等である。第一の點は第二と共に 確かに批判の力を鈍らせる 何物かの力があり、一般に批判の文字が見られない有力な理由であらう。第三の點は言論の公器としての新聞が此の場合全く無力となる事は常に新聞社主催の諸事業に於ける場合と同様であつて他新聞と雖も口を緘して語らないのである。即ち最も國民の關心深き問題に又實施以前にこそ充分批判すべき問題に對して全然批判が行れないと云ふ奇現象が生じた。尤も近頃かゝる現象は政治的には已むを得ない事でもあるが此の問題では全く自由である。前にも述べた様に忠靈塔は國民の總意により造られるものであつて一團體や一新聞社のものではない。單に夫等の團體や新聞社は國民の總意を代表しその事業を代行してなるべく優れた忠靈塔を造るべく、誠意と責任をもつて此の事業を完徹すべきではあるまいか？ 建築界に於てもその責任の一半を負担すべきであつて一會社、一都市の一建築物ではなく現代日本造形文化の最高水準を代表して大陸や全國に建てらるべき忠靈塔の基範となるべきものを建築界を總動員して制作すべきではなからうか？

此の意味に於て今回の結果を菲才を顧みず敢へて忌憚なく評すれば概して平凡の一語に盡きる。平凡と云ふ語は無難と云ふ意味もあり駄作と云ふ意味もある。直感的に云へば「これでは困る、何とかしなければ」と云ふ氣持である。細部に洩り又個々に洩る批判は避けたく思ふし又大局的には不要と思れる。入選その他を通じて先づ感じられる事は大體意匠的には殆ど同じ形式のものと云ふ事である。その中で最も平凡なるものが各種とも一等になつた様に見える。そして更に強いて分類しても 2・3 種の形式に大體纏められ相な氣がする。そしてよく見做れた表頌塔や忠魂碑の形式の意匠から一步も出て居ない。内容から云つても吾々は日本の紀念建造物の變遷の上に一躍進を劃すべく期待して居たのが完全に破られた様な氣がする。日本歴史の上には未曾有の大事變を紀念するのに在來よくある意匠を少し大きくしたり變へたまゝあてはめたゞけは吾々は現代の日本人として特に建築家としてちつてして居られない氣がする。落選の中には少數乍ら此の意味で努力推進の跡の見られるものもあり中には可成よいものも含れて居た。たゞ公平に視て夫等の中に萬人をして一等として首肯せしめる様なもの



第三種一等

星野昌一



第三種佳作

津守繁

はないかも知れないが今回選れたものよりも數等優秀であり文化的に造形的に又現代日本的に程度の高いものがあつた事は確かである。入選や佳作にもごく少數夫に近いものが無いでもない。併し大部分を制する造形意匠の前述の如き傾向の横行は今回の結果を單に審査員の責任であるとは斷じ切れぬ理由である。即ち根本の禍根は日本の工作文化界特に建築界の程度の低さであつて審査員としては一般の趨勢に順應した云ふ無難な態度を示されたのかも知れぬ。然し審査本來の意味からかゝる競技設計の結果は常に時代のレベルを向上せしむべき推進的使命があるのであるから向上前進の道を示される熱意・雅量・理解が審査員各位に望ましかつた。尤も此の點は認識の相違であらうから最初の人選の結果により或程度以上は如何としても望み難い事である。

以上の様に考へ來て私は今回の過去となつた結果の批判よりも更に將來の改善を目指す方向を探る事を建築界に要望する。又かくすべき事は建築界の義務であると確信する。即ち優れた忠靈塔を作ると云ふ大義に向つて一致協力して精進努力せねばならぬ。吾々として不満足である今回の結果は又吾々の力の足りない事に根本の禍根がある事實を直視して表面的の議論より實行を考へたい。外國の模倣や變形からも過去の意匠よりも飛躍して興亞の推進力を表象する様な形式を創造したい。かゝる大事業に對し單なる一回の競技によつて決定的な結果を求める事は元來不可能な事なのであるから諦めたり後悔したりするよりも今後は實際に建てられるものを如何にすべきかを考へなければならない。

忠靈顯彰會及關係各方面に於かれてもこの大義に徹底されたならば今回の結果が最高でもなく又最優でもない事實を直視され何分の考慮を施さるゝ事を希望して止まない。今回の結果に對する忌憚なき批判が前述の如き理由によつて殆ど表面化しないけれども實際世上に行れて居るものは相當深刻なものがある。而かもそれは忠靈塔の重要性を認識すればこそ自ら生れる憂ひの聲であつて單なる不満ではない。大にして又有力なる組織によつて企畫され、有識なる審査員各位の徹身的なる努力により獲たる結果であるからと云つて必ずしも完全であり優秀であるとは限らない。そしてかゝる組織の權威・運行の努力に引續いて單なる事務的な適用が行れたならばその結末は餘りに非文化的に終る事は當然ではあるまいか。(15. 2. 25.)

1

強力な軍備、宏大な土地と人口を持つ巨人的なソ聯に對して健氣な闘ひを試みてゐる Finland, フィヨールドの國スポーツの國 Finland は藝術的にも不產の國ではない。大抒情詩カレワラを産み、音樂ではシベリウスを産んでゐる。そして建築の領域に於ては現在潑刺たる活動を續けてゐる Alvar Aalto を現代の建築家中の清新な特異な存在として認めないものはあるまい。

Alvar Aalto は 1898 年エンデニーヤを父として生れ、1921 年 Helsinki の Technical College の建築科を卒業 Sweden の Gotenlborg の博覽會の事務所で建築家としての第一歩を踏み出した。當時 Finland の建築界は Gallen, Londgren, 國會議事堂 1922 年の Chicago Tribune の競技設計で有名な Eliel Saarinen を指導者とする 19 世紀の終りに始まつた浪漫的國民主義の時代を終つた處であつた。大戰後西歐に起つた新建築運動の大波は Finland 建築界にも甚大な影響を與へた。

Gropius, Le Corbusier, Oud の影響は Finland のバルチツク海に面する Turku に先づ其根を張つた。Turku には國際新建築協會 (C. I. A. M) との接觸によつて刺戟された若い建築家のグループが新しい信條を Finland に導き入れやうとして闘争を開始した。そして其の運動の最前線に Aalto, Erik, Bryggman が居た。

Turku のグループの前進には種々の妨害がなされた。彼等は一般大衆のみならず、他の建築家特に何處も同じく競技設計の審査員連中の傳統的な偏見を征服しなければならなかつた。勿論大戰前の浪漫的國民主義は Finland の新らしい建築的發展にはもはや強力なファクターにはなり得なかつた。しかし 1920 年頃には新しい建築運動は Sweden の流行的な古典主義 Denmark の偽モダン建築によつて阻止された、そして此事は現在でも或程度まで認められる。

1927 年 Aalto は大きなチャンスをつかんだ、即ち Viipuri (Viborg) の市立圖書館の競技設計に全然新しいデザインを以て當選したのである。此の敷地は公園の端で新 Hanseatic Gothic 様式の大きな豪華な教會に隣つてゐた。そして牧師や他の人々は其實現を阻止する猛運動を開始し爲に着工は 1934 年迄延期されてしまつた。しかし幸にも七年間の延期は Aalto に一層ディテールを研究した全く原案と異つた新しいデザインを完成する期間を與へた。圖書館の計畫が牧師其の妨害によつて延期されてゐる間 Aalto は孜孜として活動を續け幾つかの競技設計に加はつた。1928~29 年 Turku の新聞社の事務所と印刷工場が彼のデザインによつて出来上つた。此鐵筋コンクリートの建物の印刷工場に Aalto は彼の特異な才能、機能の解決と壯んな想像力と材料の使用法の確實な生長を示した。力強い尖つた柱と草形の柱頭は單に鐵筋コンクリート構造計算そのまゝの形ではなく、その生々とした表現である。かくして新建築の影響は次第に全國へ擴まつて來た。Aalto は Helsinki に事

務所を開いた。此地に於て彼は同じ傾向を持つ幾人かの建築家を見出した。